

# 保健室からこんにちは

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学は作陽高校を含む作陽学園として、2010年の今年80周年を迎えました。大学は音楽学部、食文化学部、子ども教育学部の3学部から成っていて、学生数は、大学・短大合わせて約1400人と小規模です。2010年度は大学院も新設され、新たに一步を踏み出しています。



それでは、保健室の紹介をしますね。  
まずは、入口から…。  
閉鎖的な感じが、ちょっと残念…。  
血圧計があります。

中へ入ると…、受付です。  
小冊子・パンフ類の「ご自由にお取り下さいコーナー」も兼ねてあります。  
緊急の呼び出し時に、すぐに出られるよう車椅子、ストレッチャーも入口付近に準備しています。



休養ベットは3台。  
反対側にも1台あります。  
最近では、使用頻度が高くいっぱいになることも…。  
シーツ交換も大変なので、皆様のご意見を参考に度々取り替えなくていい方法として、頭側の敷布団の上と枕にバスタオルを敷くようにし、汚れるたびに洗うようにしました。



薬品棚と処置台。

怪我等の一時的な応急処置はここです。



応接セット。奥にも応接セットがあり、  
計2セット設置。

ここで学生さん達の心の悩み相談を聞いていま  
す。

食事をここで摂る学生さんもいます。

事務スペース。

いつも事務作業が溜まってます★

とても日当たりが良く、気持ちいいスペース。

午後には、眠くなることも…？





学生カウンセリングルームは、保健室と同じ館内の4階にあります。  
こちら、日当たり良好！

同じくカウンセリングルーム内の、別スペース。  
上のスペースとは、パーティションで仕切りをしています。

こちらで週2回、臨床心理士と心療内科医が交代でカウンセリングを行っています。



2008年10月から勤務させていただくようになって早2年が経過しました。  
まだまだ、戸惑うことばかりで毎日が勉強です。

仕事は繁雑ですし、小規模大学なため保健室職員も1人と、決して(いえ、全く(^\_^))環境が整ってはいません。引き継いだ業務をひたすらこなすだけで精一杯な毎日から、「今のスタイルにこだわらず、どんどん新しく変えて行きたいな」と、思いはじめたこの一年。(遅いですね(笑))

ご覧のように、本学の保健室は殺風景で温かみにかけます。それを「チャンス！」と考え、忙しくても楽しみながら2011年からは保健室を明るく癒しの場へと一新したいなと思っています。

中国・四国の皆様からは、参考になるアイデアや「1人じゃない！」という、パワーを頂いています。いつも感謝しております。これからもどうぞ宜しくお願いします！！



岡山県倉敷市玉島長尾 3515  
くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学  
ホームページ <http://www.ksu.ac.jp/>  
保健室看護師 西加奈子

